

事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-03 都市計画運営事務				タイムスコード及び個別事業名				
	□支援部門				281	都市計画運営事務			
主管課	都市計画課		関連課						
分野名	市街地整備								
目標 (目標値)	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいくる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランから)を目指す。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	28,508千円	11,501千円	指標と評価					
	(国・県)		672千円				指標		
	(負担金等)						評価		
	(一般財源)	28,508千円	10,829千円						
	人員配置数	6.0人	10.0人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	58,110千円	89,976千円				目標値	実績値	
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	86,618千円	101,477千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	490円	575円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 ( 年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 本市の将来都市像を総合的に検討し、都市計画の推進していく主な役割に加え、地域の抱える課題に対応するため、その地区の特性を踏まえた、将来像ときめ細やかなルールづくりが求められている。そのような中で、まちづくりを自主的に考えている団体に対して説明会を開催し、目指すべきまちづくりの方向性や具体的なルールについて理解を求めてきたが、より一層の醸成を図るため、まちづくりに関する総合的な体制整備が必要と考える。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) パートナーシップによるまちづくりを考慮し、まちづくりに関する既存制度について、ホームページ、パンフレット類の頒布・販売等によりPRを行うとともに、地区計画の指定に向けた1団体に対して説明会の開催等を行い、目指すべきまちづくりの方向や具体的なルールについて理解を深めた。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) まちづくりに関する総合的な体制整備が必要である。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) まちづくりに関する市民意識のより一層の醸成と、その受け皿となる体制の整備や職員の知識・技術の向上を図っていく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	地域の特性を踏まえた質の高いまちづくりが求められているなか、その実現においては 行政と市民のパートナーシップによる着実な取組を行っていく必要がある。		評価結果	改善の必要性	より良好な住環境を求める市民ニーズは一層高まっており、今後も増大していくと思われることから、都市計画法に基づく様々な手法を駆使した規制・誘導はもとより、市民が主体となって行うまちづくりを積極的に支援する体制整備や職員の知識・技術の向上を図っていく必要がある。			
A	有			A	有				
課長名		山田栄一		部名・部長名		まちづくり政策部 伊藤文男			